

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地域コミュニティづくり「高齢者の生きがい作り」「子育て世代と共に作る未来作り」「子どもの居場所づくり」「災害時の高校生にできること」の4つの取り組み		
申請大学・高校等名	大学及び高校等名	兵庫県立尼崎小田高等学校	
	活動グループ名	普通科探究「チームあまおだ」	参加学生等人数 30人
指導責任者名及び連絡先	学部・学科等名称	普通科	
	責任者氏名	難波 滋	連絡先電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	杭瀬小学校地域学校協働本部	
	代表者氏名	大槻 真佐子	連絡先電話番号
	E-mail		
	団体名	小田地区民生児童委員協議会	
	代表者氏名	西村 由美子	
	E-mail		
活動内容及び実績、評価	(活動内容、発表会) 主な活動内容(別紙活動報告参照) ①民生児童委員との協働による要支援者見守り支え合い事業において、見守り・ささえあい協力員として高齢者宅へ訪問し、見守り活動を実施した。まん延防止措置法の発出により、1月に1回の実施となった。 ②兵庫県社会福祉連合が主催する「ユニバーサルカフェ設立支援事業」に企画を提出し、地域の高齢者を対象とした「あまおだサロン」を開設した。サロンでは、地域の高齢者に参加していただき、生徒と一緒に交流した。 ③地域の子どもたちと一緒に、長洲保育所の園児を対象に本校でふれあいイベントを実施した。また、小田南生涯学習プラザでは、「あまおだ夏祭り」として、輪投げや的あてなど、子ども向けのイベントを実施した。 ④地域コミュニティへの参加として、浜地区の「書遊」という、書道を楽しむ会から指導を受け書道の楽しみを地域の方々に一緒に伝えた。また、「おじいちゃんの昔遊び」という、伝統の手作り遊具を伝承している方々から、そのノウハウの指導を受け、地域の子どもたちに対して一緒に手作りおもちゃを作り楽しんだ。 ⑤コロナ禍でも災害は発生するという想定のもと、夏休み期間中を利用して、地域学校協働本部が主催する防災スクールに参加し、自助や共助の大切さを地域住民とともに学んだ、		
	 <p>20220112「要支援者見守り支え合い事業」における見守り活動</p>		

発表会：1月29日、3月5日(新型コロナの影響で中止)  
2月5日(本校でSSH小田高リサーチ生徒研究発表会にて実施)



普通科

「あまおだ地域応援隊

～人と関わる街づくり～」

(評価)

①学生

多くの経験をすることで、地域の方々と繋がることの大切さ、協働の大切さを理解し、生徒自身が地域に生活する住民であるという事を学べた。  
また、いざという時に顔の見える関係の必要性も学べた。

②市民活動団体の活動者

高校生と協働することにより、今後も地域で地元の高校生を育てていくという自覚が持てたと思われる。また、高齢者はじめ、地域の方々にとっても高校生が参加することで、若い世代との顔の見える関係づくりにつながったと思われる。

③指導教員の視点を踏まえて、次の項目について評価・分析したものを掲載してください。

この取り組みを通して、『高校』という場をより地域の方々に知って頂き、活動を通して、信頼関係を築き上げ、今後も高校が地域のハブとなれるよう活動を続けていきたい。  
生徒自身がこれほど地域住民との関わりを大切なものと感じているとは想定以上であった。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。

・おじいちゃんの昔遊び



実際におじいちゃんたちから昔遊びを教えてください、子供たちに教えました。牛乳パックや割りばしなど身近なものを使って、面白いおもちゃをつくれて、子どもたちも楽しんでくれました。

・子どもの権利条約



すごろくをしながら私たち子どもが持っている権利を分かりやすく学ぶことが出来ました。今まではそんな権利に守られていることは知らなかったけど、この体験を通して、子供だけが思っていることに対して守ってくれる権利があることを知ることが出来ました。

・書遊



・地域清掃



左の写真は書遊と呼ばれる習字をより親しみやすくしたもので、筆だけでなく割りばしなどを使って、書き順などにとらわれず、楽しみながら書く書遊を体験しました。右の写真は長洲団地という正門の前にある団地に行って地域の方々と一緒に掃除をしてきました。草刈りをしていたので永遠に草がなくならず、大量の葉っぱを集めることになり、なかなか終わっていませんでした。

・ふれあいサロン



高齢者班で地域のご年配の方々とは折り紙や書遊をしながら交流機会を設けました。最初は緊張しましたが、私たちの世代と話をする機会が少ないといって楽しくおしゃべりして下さったので、私たち楽しくおしゃべりできました。

・減災フェス



看護医療類型の方たちと一緒に小田南生涯学習プラザで『あまおだ減災フェス』に参加しました。AEDを実際に体験するなど、様々な減災に関することを学びました。Bloom Worksさんがライブをして、災害に関する大切なことを歌って学びました。

・詐欺対策の呼びかけ



・赤い羽根共同募金



左の写真はご年配の方々に振り込め詐欺をに気を付けるよう呼びかけたティッシュを配りました。右の写真はJR尼崎駅で赤い羽根共同募金を呼びかけ、通りかかったたくさんの方が募金に協力してくれました。

▶地域の子どもたちと触れ合う夏祭り



保育園の子や、地域の子どもたちを呼んで、自分たちが考えて作った魚釣りや的あて、輪投げなどの夏祭りを開催しました。企画、準備は大変だったけど、**楽しむ子供たちの顔**を見て頑張ってたよかったです。

▶チューリップの球根植え



日曜日の朝9時から地域の方々とチューリップの球根植えをしました。なかなか**できない体験**だったので、とても楽しかったです。**4月の開花**が楽しみです！

▶FMあまがさき (FMai) の収録



今までの活動してきた内容をFMあまがさきの**番組**で放送して頂きました。この活動は、**たくさんの方と関わる**ことができ、いろんな世代の方々と交流するので、自分から積極的にコミュニケーションをとることの大切さを学びました。

今後の実施予定



- ▶ **子どもの権利条約**を小学校に行って教える。
- ▶ 『あまおだサロン』を開催し、地域の高齢者の方に来ていただいて、お茶をしながら、書遊などを楽しむ。
- ▶ 杭瀬公園の**再構築プロジェクト**を進めて行く。
- ▶ これからほかの案を出して実施できそうなものから**チャレンジ**していきます。